

女性技術系職員の人材育成を考えるシンポジウム 参加報告

河原 夏江 化学・生物技術分野

1. はじめに

岩手大学において開催された女性技術系職員を対象とした人材育成・技術習得を考えるシンポジウムに参加した。岩手大学の女性教職員の外、他大学より3名の女性技術系職員をパネリストとして招待し、女性技術系職員の人材育成にあたり抱える課題や問題を把握し、人材育成について意見交換を行うための研修として開催された。

2. 概要

期日：平成29年2月13日（月）

会場：岩手大学 図書館（岩手県盛岡市上田）

参加者：31名（内 岩手大学以外 14名）

プログラム：

- ・記念講演 菅原悦子 先生
(岩手大学 理事・副学長)
- ・パネルディスカッション
パネリスト 4名
伊東久美子 氏（東北大学農学部技術部技術長）
丹松美由紀 氏
(鳥取大学技術部工学・情報系部門技術長)
山本かおり 氏
(名古屋工業大学技術部計測分析課副課長)
佐々木茂子 氏
(岩手大学技術部理工学系技術部技術専門員)
- ・ポスターセッション
- ・グループディスカッション

3. 内容

最初に、岩手大学 理事・副学長の菅原悦子先生に「岩手大学の“学びやすく働きやすい大学づくり”」という題目でご講演いただいた。ご自身のキャリアパスや、男女共同参画の現状と岩手大学の女性活躍推進の取組について、様々な角度か

らの分析を含めご紹介いただいた。大学は地域を先導する役割を担うと考え、北東北地方の男女共同参画を岩手大学が先導していくことを目指し、多くの先駆的な活動を行ってきた。

パネルディスカッションでは、まず参加者全員が事前に提出したアンケートの結果について、報告された。次に、パネリストに各自の経歴について紹介していただき、その後、いくつかのテーマに沿って、活発に討論が行われた。パネリストとして予定されていた鳥取大学の丹松氏は、大雪による交通障害のため、残念ながら本シンポジウムは不参加となったが、岩手大学の方が代わりに説明された。それぞれの立場での意見を聞く機会となり、参考となる事例も多かったが、人材育成の難しさも感じた。

ポスターセッション、グループディスカッションともに、岩手大学をはじめ他大学の女性技術系職員の方と意見交換することができたが、時間が足りないくらいだったのが、少し残念である。

4. おわりに

女性技術系職員を対象としたシンポジウムに初めて参加することができ、大変、有意義な時間を持つことができた。このような機会が得られたことに感謝する。

